

I 先行する神の恵み。

主イエス・キリストの恵み。十字架による罪の赦し。復活による永遠の命。父なる神の大きな愛。御聖霊の内住と交わり。

「聖霊は、神がご自分の血をもって買い取られた神の教会を牧させるために、あなたがたを群れの監督にお立てになったのです」使徒 20 : 28

II コリント教会にあった分派。 I コリント 3 : 1 - 9

1. : 3。コリントの教会には、「ねたみや争い」があった。

「ねたみ」は、すべての必要を満たして下さる主から目を離し、人と比べ、自分にないものに目を留める時、人へのねたみが起こる。自分にないものではなく、「むしろ」、神から自分に与えられているものを、一つ一つ数え、感謝する時、「ねたみ」から解放される。ねたみへの対処は感謝！

また、「争い」は、人の意見には耳を貸さず、自分の主張だけを通そうとする（主の支配ではなく、自我の支配）時、起こる。互いに他の人を受け入れ、互いに、人の意見に耳を傾ける愛が与えられる様に祈りたい。

2. : 4。パウロは、コリント教会の初代の開拓伝道者であり、アポロは、その後を継いだ第 2 代伝道者だった。ある人々は、「私は、初代のパウロ先生の方がいい」と言い、ある人々は「私は、私を導いて下さったアポロ先生の方がいい」と言う人々がいた＝「私はパウロにつく」。「私は、アポロに」つく。

キリスト者になっても、好みはある。神から与えられた個性が、信徒にも、教職者、教職者夫人にもある。大切な事は、好みはあっても、好みを越えて、主が立てられた（「キリストご自身が、…ある人を牧師また教師として、お立てになったのです」エペソ 4 : 11）説教者を通して語られる御言葉、主ご自身につく信仰である。バプテスマを受ける恵みは、人につくのではなく、「キリスト（主の御言葉）につく」人生の始まり。

「バプテスマを受けてキリストにつく者とされたあなたがたはみな、キリストをその身に着たのです」（ガラテヤ 3 : 27）。

この恵みを自覚する人々は、前任者と後任者を比べず、それぞれの良さを認め、無牧ではなく、牧会者が主から与えられている恵みを感謝し、どの牧会者をも愛し、支え、その器を通して語られる御言葉により成長し、分派を作らず、教会の一致を大切にする。

III 成長させてくださるのは神。 : 5 - 9。神は、教会、信徒、教職者を成長させられる！

1. : 5。「アポロとは何でしょう。パウロとは何でしょう」。

「あなたがたが信仰に入るために用いられたしもべであって」。

福音宣教師、牧会者達は、神の「しもべ（仕え人）」として「主なる神」の御目的に応じて、人々が信仰に目覚めるために聖霊様の器として用いられる。

「主がおののけに授けられたとおりのこと」＝「主から与えられた分（賜物、能力、使命）に応じて」（エペソ 4 : 7、16、ローマ 12 : 3 - 8、I ペテロ 4 : 10 - 11）の奉仕をしたままである。私達は、他の人と比べて、劣等感や優越感を持つのではなく、自分の分（神からの賜物、神からの使命）を果たす事で喜べる者でありたい。

2. : 6。「私（パウロ）が植えて」＝「植えた」、つまりパウロは、「開拓伝道」をした（使徒 18 : 1 - 8）。

「アポロが水を注ぎました」＝「水を注いだ」、つまりアポロは、「第 2 代伝道者として教会形成を継承した」（使徒 18 : 24～）。

3. 「しかし、成長させたのは神です」。

私達は、賜物に応じて喜んで奉仕をし、主は、それを人々の救いと成長に用いて下さる。と同時に、あくまでも、人々に真の命を与え、救い、成長させて下さるのは神ご自身である。命の源である神ご自身の働きがなければ、私たち人間が、どんなに忙しく働いても何の实りもない。私は、この事実を約40年間の牧会の中で体験してきた。神が、働かれる時、難しいと思われた人が救われ、成長する。

※伝道を拒まれた人の神による救いの奇蹟の証し。

御言葉の奉仕者は、分業制だが、全体をまとめて、終わりの完成の日まで導いて下さるのは、神ご自身である。

4. 神は、教会も信徒も教職者も成長させられる。教職者も、神学校を卒業してすぐに教会の責任者になるケースは、大変である。世の会社、学校では考えられない事！教職者の多くの失敗、経験、信徒の祈りの支えを通して、神が成長させて下さる。

私も、最初から61歳の牧師ではなく、20代、30代、40代、50代、60代と色々な失敗（神は失敗から学ばせられる）や貴重な牧会経験を積み重ね、神の深い憐れみと信徒の皆さんの祈りの支えと、それぞれにふさわしい奉仕の支えにより、本分の「祈りとみことば」の奉仕に励み、支えられて来ました。

「私たちは、もっぱら祈りとみことばの奉仕に励むことにします」（使徒6：4）。

IV 励まし。教会の指導者を交代させられる神ご自身が、神の教会を守り導かれる！

1. 教会の大牧者、かしら、建て主、真の責任者は、主ご自身！

「わたし（キリスト）はこの岩（信仰告白）の上にわたし（キリスト）の教会を建てます」（マタイ16：18）。

この偉大な主から信仰の目を離さないで歩みたい！

2. 神には、いつの時代も、神のみこころにより、指導者を、神の時に交代させられる。

神は、モーセをエジプトからの脱出（救出）に用いられた。モーセへの神からの使命は、そこまでだった。その後、約束の地、神が立てられたカナンに導く指導者は、ヨシュアだった。神のみこころによる指導者の交代。神のヨシュアへの励ましの御言葉。

「あなたの一生の間、だれひとりとしてあなたの前に立ちはだかる者はいない。わたしは、モーセとともにいたように、あなたとともにいよう。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。強くあれ。雄々しくあれ」ヨシュア1：5, 6。

神は、神が立てられた指導者と共にいて、神の民を導くのを助けられる。

3. 民たちの新しい指導者、モーセの後継者ヨシュアへの励まし。

「私たちは、モーセに聞き従ったように、あなた（後継者の若いヨシュア）に聞き従います。ただ、あなたの神、主が、モーセとともにおられたように、あなたとともにおられますように」ヨシュア1：17。

私達も神が立てられた指導者を支え、互いに支え合い、主の教会を建て上げ続けたい。

神は、互いに祈り合い支え合う教会を祝福される！これからのライトハウス教会も！